

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 2 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	新学校給食センターへの太陽光発電設備等設置による再生可能エネルギー理解促進事業	
補助事業者名	静岡県御前崎市	
補助事業の概要	御前崎市新学校給食センターに、出力 21kW の太陽光発電パネル及び蓄電容量 16.8kWh の蓄電池を設置した。併せて、見学対応のための表示モニターを設置した。	
総事業費	37,213,000 円	
補助金充当額	34,071,000 円	
定量的目標	<p>本事業の実施により、太陽光発電パネル及び蓄電池を設置することで、新学校給食センターへの見学者のエネルギー構造高度化・転換に対する理解の促進を図る。太陽光発電の特性や再生可能エネルギーと系統電力を組み合わせることの必要性を情報発信していく。</p> <p>また、災害時等の非常時における電源供給を確保し、給食センターとしての業務を継続するための体制の強化を図る。</p> <p>さらには、『御前崎市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）』にて「2030 年度における温室効果ガス排出量」の目標を、「2015 年度比 40%削減」と設定している。同計画と連携した施策として、教育施設を含めた公共施設への再生可能エネルギー発電設備の導入を推進することにより、将来的な温室効果ガス削減目標の達成を目指す。</p>	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<p>本事業の実施により、太陽光発電パネル及び蓄電池を設置することで、再生可能エネルギーと系統電力を組み合わせ設備を稼働させている（エネルギーミックス）施設として整備することができた。</p> <p>また、太陽光発電の仕組みを紹介することができる見学コースを構築し、市内の児童・生徒だけでなく、地域住民も含めた多くの方へ太陽光発電の特性やエネルギーミックスの必要性を情報発信し、エネルギー構造高度化・転換に対する理解促進を図ることが可能となった。</p> <p>また、近年、自然災害が大規模化していく中で、災害時等の非常時における電源供給源を確保し、給食センターの業務を継続できる体制の強化を図ることができた。</p> <p>なお、年間予測発電電力量に基づく年間二酸化炭素削減量として、約 17.3 トンを見込むことができ、将来的な温室効果ガス削減に取り組むことができた。</p>	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約	契約の目的	太陽光発電パネル及び蓄電池等の設置にかかる工事
	契約の方法	一般競争入札
	契約の相手方	株式会社榛原電業
	契約金額	37,213,000 円

来年度以降の事業見通し	公共施設を対象に、太陽光発電等の再生可能エネルギーと蓄電池を組み合わせたシステムの導入を推進し、平常時の省エネと緊急時の電源確保に取り組む。また、その効果や災害時に期待される機能等について情報発信していく。
-------------	---